

ロート製薬株式会社

第89期 株主通信

～ロートのハート～

2024年4月1日から2025年3月31日まで

特集

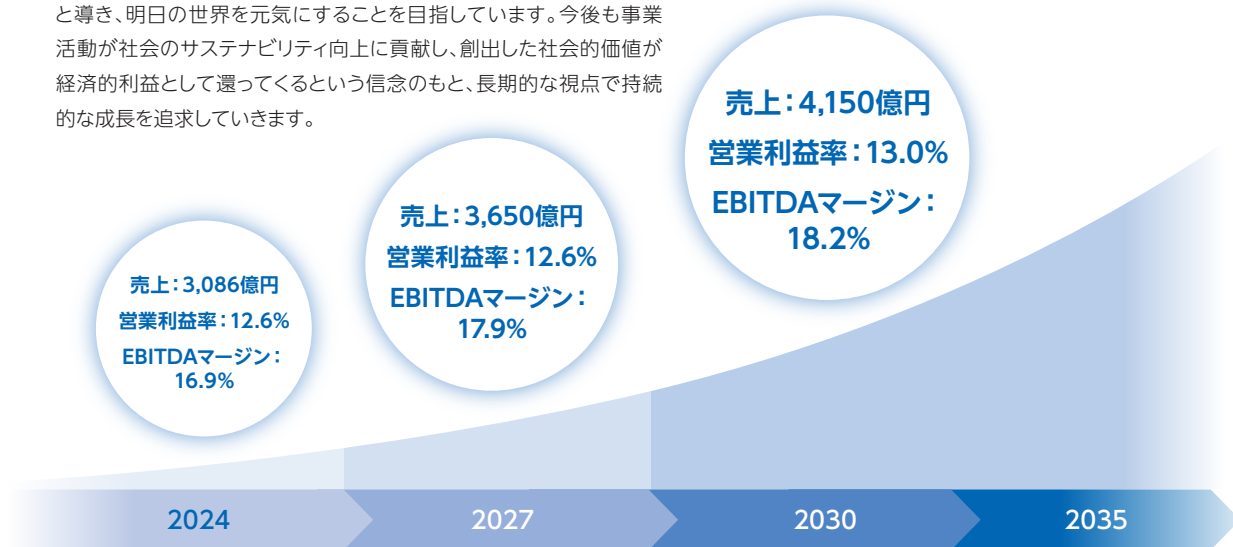
- ロートグループ中長期成長戦略 2025-2035 概要
 - ロートグループ中長期成長戦略 2025-2035に向けて
-
- 未来社会のWell-beingのために
 - 株主さまからよくいただくご質問
 - ロートグループの1年
 - 地域セグメント別情報

ロートは、ハートだ。

Rohto

Well-beingな社会と サステナブルな事業成長の実現にむけて

当社は、「健康」という価値提供を通じて世界の人々をWell-beingへと導き、明日の世界を元気にすることを目指しています。今後も事業活動が社会のサステナビリティ向上に貢献し、創出した社会的価値が経済的利益として還ってくるという信念のもと、長期的な視点で持続的な成長を追求していきます。



中長期戦略の概要

課 題	戦 略
事業収益力の強化	セルフケア事業のグローバル展開・新分野への拡大 ■ アイケア・スキンケアの新価値を国内外へ展開 ■ ヘアケア・フェムケアなどの新分野で地位確立
技術商品力の深化と拡充	Well-beingなライフスタイルの提供 ■ フィトサイエンス*の素材研究からサプリメント導入 ■ 内服・食品での胃腸ケア・予後ケア、Eu Yan Sang International Pte Ltd. (以下ユーヤンサン社)とのシナジー
メディカル事業の基盤構築	医療事業ファンデーション・ネットワークの確立 ■ ケミカルからバイオ・細胞加工までのCDMO拡大 ■ 眼科事業のグループ内連携、皮膚科向け化粧品 ■ 医療用眼科新薬・再生医療等医薬品の開発

* 当社が提唱する、自然界の力を科学的に解明し、社会に貢献する新たな事業戦略です。特に、自然素材の活性や機能(フィトパワー)に着目し、地域資源や技術を活用して、持続可能な社会づくりを目指しています。

主要事業のポイント

■ アイケア事業

日本国内のドラッグストアなどで販売されているOTC目薬において、当社はお客さまの支持をいただきシェアNo.1※を誇っています。これからも、アイケアの重要性を広めるとともに、新たに目薬を使い始めるきっかけを提供していきます。さらに、現在は中国、インドネシア、ベトナムといったアジアの国々でも当社の目薬が広がりを見せており、今後はヨーロッパ市場におけるドライアイ目薬の市場にもその輪を広げ、より多くのお客さまの目の健康をサポートしていきます。

※インテージSRI 目薬カテゴリ 2024年4月～2025年3月累計金額シェア



■ スキンケア事業

当社は、日本国内だけでも年間約3億個の「肌ラボ」や「メラノCC」をはじめとするスキンケア商品をお客さまにお届けしています。中でも「肌ラボ」は日本国内にとどまらず、アジア各国のお客さまから高い支持を得ており、さらに「Hadalabo Tokyo」というブランド名でヨーロッパ市場へも展開を進めています。引き続き世界中のお客さまに選んでいただける商品づくりを目指していきます。また「Gyutto」をはじめとする確かなサイエンスに基づいたヘアケア事業の拡大、フェムケアなどの新しい領域への挑戦を続けていきます。



■ 内服・食品事業

薬に頼らないライフスタイルの提案として、当社独自のサイエンスに基づいた素材を活用し、お客さまの健康に貢献していきます。特に、昨年当社グループに加わったユーヤンサン社とのシナジーを活かし、日本国内だけでなくアジアの人々のWell-beingを支える取り組みを進めています。



■ メディカル事業

当社の次なる事業基盤として、新たな事業への挑戦を積極的に進めています。具体的には、細胞加工のCDMO事業や医療機器事業に加え、医療用点眼薬事業や再生医療事業における新薬導入を目指し、申請および承認のプロセスを推進していきます。これらの取り組みを通じて、社会課題である健康寿命の延伸や、治療を待つ患者さまのWell-beingの実現に貢献していきます。



常務取締役 CSO
(チーフストラテジーオフィサー)

瀬木 英俊



グローバル事業基盤の強みをM&Aで拡大

取締役副社長 CFO
(チーフファイナンシャル
オフィサー)
斉藤 雅也



グローバル事業展開においては着実な成長を遂げており、現在では海外売上高が連結売上高の47%を占めるまでになっています。特に中国、ベトナム、インドネシアには1990年代からいち早く進出して、各地域において自前の工場、研究開発機能、マーケティング・営業機能を育ててきております。グループの強みと各々の独立性を併せ持ちながら事業を展開することで地域の文化や規制に合った強固な基盤を築いています。

成果と展望

アジア市場の成長

中国では、市場の冷え込みが進む中、短期的な売上・シェアを支えながら、香港理工大学と共同で眼科研究センターを設立し、眼精疲労に関する研究に取り組むなど一層の基盤強化を進めました。また、ベトナムやインドネシアでは、「肌ラボ」等のスキンケア製品やフケ抑制シャンプーの「セルサン」が好調に推移し、これらの地域での成長がアジア事業全体を牽引しています。



フケ抑制
シャンプーの
「セルサン」

今期の展望

今期は海外事業展開を一層加速させていきます。2024年6月に子会社化したシンガポールの漢方薬製造販売企業であるユーヤンサン社は、医薬品から健康食品まで幅広い漢方製品の開発・販売を行っております。これらの商品を日本だけでなく、当社が強みとするベトナムやインドネシアなどにおいて商品の販路拡大を計画しています。また、オーストリアに拠点を置くモノ社は最新の欧州医薬品規制および医療機器規制に準拠した無菌製剤を生産する能力を持った工場と薬事機能を有しており、今後は欧州地域でのアイケアの迅速な事業展開が可能となります。今期もグローバルなネットワークを最大限に活用し、地域に根ざした強固な基盤を築き上げ、世界のお客さまへさがるる価値を提供していきます。

欧州市場での展開

CEマークを取得したドライアイ目薬「ROHTO DRY AID」をイギリス、ポーランドなどのEU加盟国に導入し、さらには中東やアフリカにも販路を広げ、市場開拓を進めています。また、2024年8月にはオーストリアの製薬会社である Mono chem-pharm Produkte GmbH (以下モノ社) を子会社化し、欧州における目薬や医療機器事業の地域拡大を目指しています。



CEマークを取得した
「ROHTO DRY AID」



ユーヤンサン社

さまざまな知見をくみあわせたサイエンスベースのものづくり

スキンケア製品開発部
部長
野依 佐千子



製薬会社ならではの知見を活かし、安全性・有効性・品質を追求するエビデンスベースの製品開発に取り組むとともに、長年の基礎研究と再生医療研究によって培った基幹技術を応用し、サイエンスベースの魅力ある商品やサービスを提供できることがロートの強みです。「人を、社会を、明日の世界を元気にする」というパーパスの実現のために日々新しい研究に励んでいます。

新しい挑戦への取り組み

ヘアケアにサイエンスという“新しい選択肢”を

当社は、健やかで美しい髪は健康な頭皮から生まれるとの認識のもと、スキンケア研究で培った知見と技術を応用し、サイエンスベースのヘアケア開発を進めています。髪悩みの根本的な解決を目指し、引き続き研究に取り組んでいきます。



「Gyutto」 オンライン限定ブランド「PRORY」

製薬会社の化粧品だからこそ「効果」と「安全性」の両立にこだわる

アンチエイジング成分として注目されているレチノール成分は、効果の高さを優先すると肌の赤みや乾燥などの反応が起こりやすい一方、レチノールの量を減らし肌への安全性を優先すると高い効果を得ることができないというのが問題でした。当社は油剤の極性(LOB)に着目し、レチノールの肌への浸透速度をコントロールすることで、「効果」と「安全性」の両立を実現*することに成功しました。このレチノールの浸透コントロール技術は特許申請中です。

※三次元人工培養皮膚による浸透試験と、ヒト試験にて

難治性創傷のための創傷治療システム「オートロジェル システム」を販売開始

「オートロジェルシステム」(承認番号30400BZX00273000)が2024年10月に保険適用になり、2025年1月14日から医療機関に向け販売を開始しました。難治性創傷の一例である糖尿病性皮膚潰瘍は足にできやすく、治療が困難で下肢切断に至ることもある疾患です。治療の選択肢の一つとして、患者さま、ご家族、医療を支える皆さまへ貢献していきます。



販売名 : オートロジェル システム
一般的名称 : 多血小板血漿ゲル調整キット
医療機器承認番号 : 30400BZX00273000
クラス分類等 : 高度管理医療機器(クラスⅢ)、生物由来製品



遠心分離機

オートロジェルシステムは、PRP治療機器で初めて薬機法下の医療機器として承認を取得しました。

・使用目的又は効果: 既存治療が奏効しない創傷に対する、自己多血小板血漿ゲルを用いた創傷治癒の促進
・保険収載: 関連技術料 J003-4多血小板血漿処置 4,190点(施設基準等の変更を伴う)

お客さま満足の追求と、 体験価値に徹底的に向き合う

HB首都圏事業部
部長
新村 万里



「私たちが湧き出る情熱で、お客さまのハートを動かしているのか?」これは私たち社員全員が自身の仕事の原点とする大切な考えです。お客さま、患者さまのハートを動かすために、お客さまの声に徹底的に向き合い、これからももっとワクワクしていただけるようなサービスや商品を提供できるようチャレンジを続けていきます。

お客さま起点のマーケティング

つながることで、明日を、もっと明るく!

お客さまから直接声をいただくコミュニケーションコールには、2024年度は3,077件(前年比+357件)の声をいただきました。お客さまと1対1でつながり、声をいただくことで2024年度も多くの商品がより使いやすくなっています。お客さまの声をもとに、もっとハートを動かすようなサービスや商品を提供できるようこれからも励んでいきます。



なみだロートファイブ
販売名:なみだロートファイブ
<第3類医薬品>



開封後も箱に目薬を戻したいという声から、開封後も箱として使える仕様に改善しました。

ココロート♡Fes2024開催!

“ハートでつながろう”をテーマにしたリアルイベントココロート♡Fes2024を開催しました。商品展示コーナーや試食ができる食体験コーナー、セルフケア情報が満載のステージといった多彩なコンテンツが並び、お客さまも社員も一緒に大盛り上がり!お客さまからは商品の感想などリアルな声を聞かせていただくことができ、今後の新商品開発のアイデアの種を多くいただくことができたイベントとなりました。



2024年9月開催

「ハートボイス」コーナーでは、参加者の皆さまの商品愛がギュッと詰まったコメントが大集合。



店頭でのお客さまとのコミュニケーション

日頃よりお客さまから直接声をいただける大切な活動として店頭活動は大変力を入れています。日やけ止めの立ち上がり時期である今年の2〜3月にも、いち早くお客さまに新商品の「ヒアルロンセラムUV」をお試しいただける店頭タッチアップイベントを各所で実施し、これまで日やけ止めに苦手意識を持っていた方にも前向きに手に取っていただけるイベントとなりました。これからもお客さまひとりひとりとつながれることを大切に、コミュニケーションを深めていきます。

タッチアップイベントでいただいたお客さまの声は、店頭販促に活用させていただきます!



お客さまの声から作ったPOP例

日本のものづくりの「灯台」に。 ロート製薬が挑む次世代スマート工場

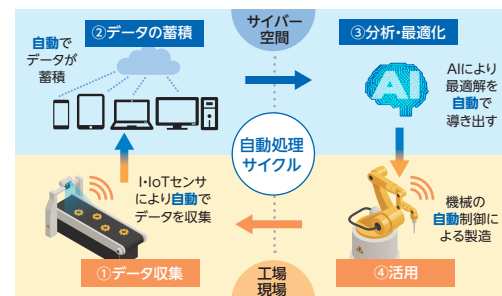
生産技術部
副部長
固城 浩幸



当社のマザー工場である上野テクノセンターは、地中熱や太陽光などの再生可能エネルギーを積極的に活用し、従来の工場と比較してエネルギー消費量20%削減を実現しています。また最新の数値モデルやAI技術を導入し、CPS(サイバーフィジカルシステム)によって生産工程を最適化している「人と環境にやさしいスマート工場」です。今後も単なる効率化を超えた、人が誇りと熱意をもって働ける環境をつくり、製造業全体に活力を与えられる、モノづくりの新しいモデルを世界に発信していきます。

CPS(サイバーフィジカルシステム)とは?

仮想空間(サイバー空間)と工場現場(フィジカル空間)をシームレスに統合し、人を全く介さずに、常に自動で最適化された結果を現場に反映し続ける、「自動処理サイクル」を実現することで、生産効率を大幅にアップさせるシステムです。



人を全く介さない
「自動処理サイクル」により、
現場で勤務する社員の負担が軽減。

社員はより意思のある仕事へシフトし
“人が活きるWell-beingな働き方”へ。



三重県伊賀市にある「上野テクノセンター」稼働中の実工場でCPSを実装している事例は非常に少なく、その革新性から欧米の研究チームや製造企業から注目を浴び、多くの視察を受け入れています。

CPSの導入による成果

生産計画の精度の向上

これまでの経験や勘による意思決定をすべてデータとして蓄積。意思決定を属人的なものからデータベースで行うことで、より正確性の高い生産計画の策定につながっています。

生産性の向上

サイバー空間で解析された「最適な解」を現場に適用することで、作業者の動線や設備、モノの配置が改善され、効率的な生産が可能となりました。

準備時間の短縮

翌日以降の生産計画に合わせて、資材の最適な配置場所を導き出しています。夜間に自動機が自動で棚替えを行うことで最短で資材を取り出すことが可能となり、製造前の準備段階の時間短縮につながっています。



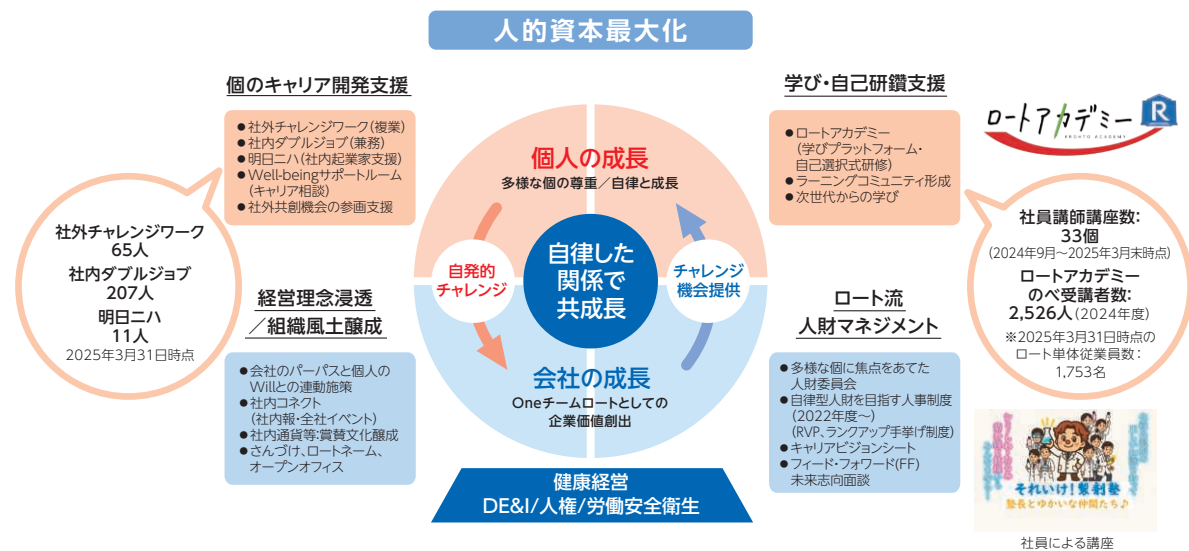
多様な個の「挑戦と志」が 生きる組織へ

取締役 CHRO
 (チーフヒューマン
 リソースオフィサー)
河崎 保徳



当社は創業以来、社員一人ひとりの志と情熱を原動力に、社会に価値を創出してきました。多様な社員が主体的に活躍し、不確実性の高い環境変化や組織の成長に対応するため、経営戦略と連動した人事戦略を展開しています。健康経営を基盤に、ロート流の人財マネジメントを軸とし、キャリア開発支援や学びの機会の提供、経営理念の浸透と組織風土の醸成を重視した多様な施策を推進しています。こうした取り組みを通じて、会社は挑戦の機会を提供し、社員が自発的に取り組むことで「会社と社員の共成長」を目指しています。また、組織と個人の成長から持続可能な価値を創出し、社会やお客さまの期待に応えるとともに、Well-beingな社会の実現に向けて尽力していきます。

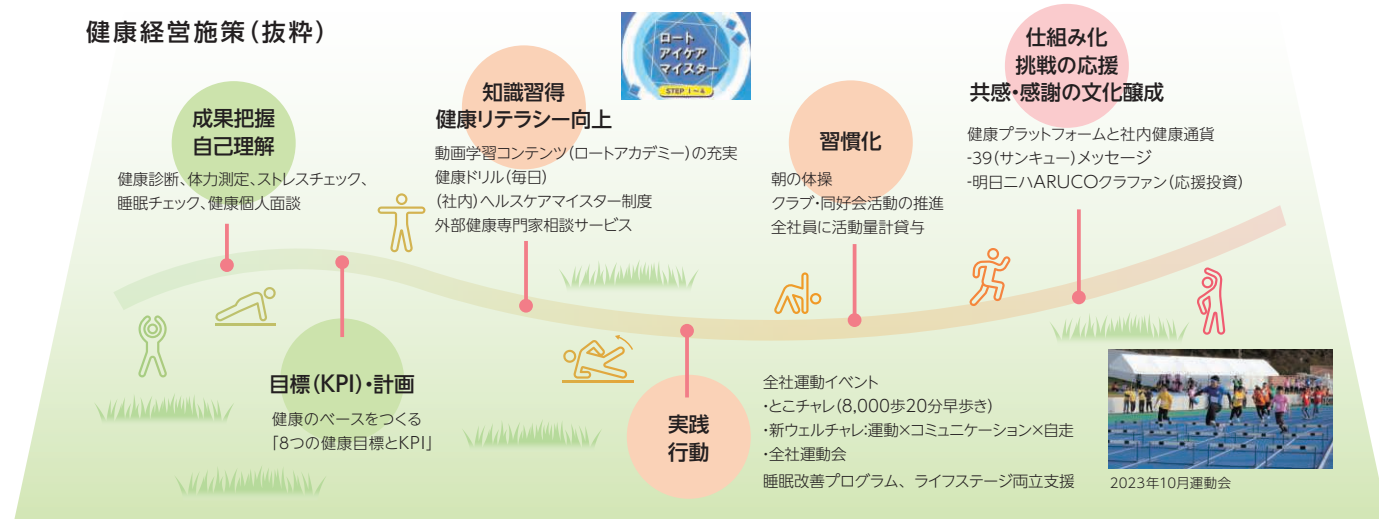
人財力を最大限生かす



自律型健康人財を育む健康経営

当社は、社員が心身の健康を基盤に、情熱(働きがいや生きがい)を持って日々の業務に取り組む「真の健康(Well-being)」を目指し、健康経営を推進しています。現在および未来の健康リスク、次世代の健康につながる独自の「健康指標(KPI)」を設定し、活動量計や社内健康通貨ARUCOを活用して、健康の循環を生むエコシステムを構築しています。これらの取り組みを通じて組織文化を醸成し、社員の自発的な参画を促す仕組みとPDCAサイクルを運用することで、自律型健康人財の育成に注力しています。これからも健康の価値を家族や地域社会、そして次世代へ広げていきます。

健康経営施策(抜粋)



「健康経営銘柄」※1に2度目の選定、 「健康経営優良法人(ホワイト500)」※2も5年連続8度目の認定

健康経営に優れた上場企業として「健康経営銘柄2025」、「健康経営優良法人認定制度」において「健康経営優良法人(ホワイト500)」に認定されました。社員一人ひとりが心身ともに健康であり、情熱をもって日々の仕事に取り組めるよう、グループ全体で継続的に健康づくりに取り組んでいきます。



※1「健康経営銘柄」：従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む上場企業を選定し、長期的な視点から企業価値の向上を重視する投資家に対して、魅力ある企業として紹介することを通じ、企業による健康経営の取り組みを促進することを目的として、経済産業省、東京証券取引所が共同で実施しているものです。
 ※2「健康経営優良法人」：地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を表彰する制度です。

「スポーツエールカンパニー2025」 シルバー+(プラス)に2年連続で認定

従業員が行うスポーツ活動の支援や促進が評価され、「スポーツエールカンパニー2025」シルバー+(プラス)に認定されました。引き続き社員一人ひとりの健康増進をサポートし、健康経営を推進していきます。





未来社会のWell-beingのために

ロートが考える未来のヘルスケア～万博開幕～

大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオンにて、「再生医療が身近になった2050年のミライ社会」をテーマに次世代自動細胞培養装置の展示や、「ミライのアイケア」をテーマとした顔写真から「目」の健康スコアがわかる体験やミライの目薬展示を行っています。

苦節3年ほどの大プロジェクトがようやく形になりました。アイケアや再生医療にかけるscienceとpassionをまさに感じていただけるのではないかと思います！是非大阪ヘルスケアパビリオンにお越しください！



広報・CSV推進部
大阪万博&地域連携グループ
マネージャー 梅村 健



自動培養
装置



ミライ目薬



ミライの
アイケアステーション



細胞デザイン
ステーション

世界各地での応援・感謝の輪

ミャンマー

当社は1996年に代理店を通じミャンマーで事業を開始し、その後ロート・メンソレータム・ミャンマー社を設立。スキンケア製品や目薬を通じて、現地の人々の美と健康を支えてきました。

2025年3月28日に発生したミャンマー中部の大地震では、多くの犠牲者が出る中、同社の社員やオフィスも被害を受けました。困難な状況下でも、自身が被災者でありながら現地社員たちは被災地の清掃や被災者支援活動に積極的に取り組み、地域社会との絆をさらに深めています。また、日本の仲間から寄せられた寄付金は会社が同額をマッチアップし、労働組合からの寄付金と合わせて、今後現地の信頼できる団体に届け、支援活動に役立てていく予定です。社員一人ひとりの献身的な努力と、日本と現地の連携を通じて、被災地復興と地域社会への貢献を続けていきます。



スリランカ

スリランカには約2,200万人の人口があり、そのうちおよそ20万人が盲目、40万人が低視力、さらに300万人もの人々が何らかの視覚障害を抱えています。

この厳しい現実心を動かされたロート・メンソレータム・ランカ社の社員は、「かるがも基金」を通じて、眼科検診が行える移動バス1台と老眼鏡1万枚をスリランカの人々へ寄付することを決定しました。この寄付を



かるがも基金



社員有志による積立基金と会社からの支援を合わせたものを原資とし、毎年社会に必要とされる福祉や環境活動に役立てています。



きっかけに、すでに多くの学校や地域を訪問し、多くの方々の目の健康を守るための活動が実現しています。

視力を取り戻した高齢者の笑顔や、初めて眼鏡をかけて黒板の文字が読めた子どもたちの喜びは、私たちにとって何よりの励みとなっています。今後もこの活動を継続し、ひとりでも多くの人々に「見える喜び」を届けていけるよう、取り組んでいきます。



Managing Director of
Rohto Mentholatum Lanka
RATNAYAKE T. GAYATHRI

株主さまからよくいただくご質問

Q

新しい分野への挑戦とその手ごたえは？

A

当社は、中長期的かつ持続的な企業価値の向上を目指し、世界中の人々の健康を支える商品やサービスを通じて、**社会をWell-beingへと導くことを目的に、既存のアイケア・スキンケア事業といったセルフメディケーション事業に加え、多岐にわたる事業を組み合わせた経営を推進しています。**

医療用医薬品、医療機器、細胞加工製品の開発といったプロフェッショナル領域にも挑戦し、これまで有効な治療法がなかった疾病へのアプローチや、満たされていなかったお客さまや患者さまのニーズに応える商品もすでに市場に提供しており、大きな手ごたえを感じています。

Q

株主への利益還元(配当)についてどのように考えていますか？

A

当社は、お客さまのニーズに応えることで得た収益を持続的な成長のために積極的に投資し、新たな事業の創出と顧客満足の向上を目指しています。配当については、**成長投資後の財務状況や将来展望を踏まえ、連結配当性向30%以上を目安**とし、長期的・累進的な株主還元を行う方針です。長期的な投資に対して安定的なリターンを提供することで、株主の皆さまのご期待に応えていきます。

Q

大阪万博へ出展している理由は？

A

当社は、Well-beingな社会の実現を目指し、ヘルスケア・医療の未来に向けた挑戦を続けています。現在開催中の大阪・関西万博では、**「大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn」の理念に共感し、協賛企業として参加**しています。会場では「目の健康」や「再生医療」に関する技術を紹介・体験できるブースを出展しているほか、公式キャラクター「ミャクミャク」とコラボした限定目薬*も発売するなど、体験を通じて未来の医療やご自身の健康に思いを馳せる場を多くの方に届けています。

※ヘルスケアパビリオン会場内、および一部店舗での限定販売

Q

女性活躍、登用についてどのように考えていますか？

A

当社は、性別にかかわらずすべての社員が活躍できる職場環境の実現を目指し、**ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン(DE&I)を経営の重要課題として推進**しています。現在、ロート製薬単体での女性管理職比率は33%、女性取締役比率は30.7%と高水準を維持し、多様な人材がいきいきと活躍できる企業風土を育んでいます。(2024年3月末時点)

ロートグループの1年

2024年

4月

シンガポール漢方薬製造販売企業 Eu Yan Sang International Ltd. の株式の取得 (孫会社化) 及び同社に対する株式公開買い付け

詳しくは P.4

「Nakanoshima Qross (未来医療国際拠点)」にラボ・オフィスを開設

「Nakanoshima Qross (未来医療国際拠点)」内の「未来医療R&Dセンター」に研究ラボ・オフィスを開設。また、Nakanoshima Qrossでの再生医療研究の取り組みが「大阪府未来の医療Qrossoverプロジェクト補助金 (令和6年度)」に採択されました。高機能セクレトーム (細胞外分泌物) 製剤の早期開発および再生医療を身近にする調製デバイス・技術の開発を加速させています。



5月

ロート製薬オリジナル完全AOF培地「R:STEM」が国内でFIRMマーク認証第一号を取得

一般社団法人再生医療イノベーションフォーラム (以下、FIRM) が構築した再生医療周辺産業の製品・サービスに対する認証制度において、当社のAOF培地※1「R:STEM※2」が、国内で第一号となるFIRMマーク認証を取得しました。

※1 AOF培地：動物・ヒト由来成分を含まない培地
※2 R:STEM Medium for hMSC High Growth

6月

オーストリアの製薬会社 Mono chem-pharm Produkte GmbH の株式取得

詳しくは P.4

7月

ZEROCO株式会社への出資及び食事業戦略パートナーシップ体制の構築



ZEROCO社の鮮度保持技術と当社の技術を融合し、健康・Well-beingの源となる食の分野において、健康的でサステナブルな社会の実現に努めていきます。

不妊治療の新たな解決策となる 開発ベンチャーBAIBYS Fertility Ltd.へ出資



不妊治療の新たな解決策となる完全自動化精子選択システムと当社のセルフケアを中心とした妊活サポートを連携させ、不妊治療分野への挑戦を加速していきます。

イオン富谷店に東北大学病院健診サテライト「まちかど健康ラボ」オープン

東北大学病院と連携し目と全身の健康状態をセルフチェックできる施設「まちかど健康ラボ」をイオン富谷店に開設しました。今後も産官学の共創によるヘルスケア研究の促進、社会実装を目指し、地域の皆さまがより健康な生活を送れるようサポートしていきます。



「まちかど健康ラボ」イメージ

10月

「第34回国際化粧品技術者会連盟 (IFSCC) イグアス大会2024」にて研究結果を報告

毛髪科学に基づく新しいヘアカラーリングシステムが、「第34回 国際化粧品技術者会連盟 (IFSCC) イグアス大会2024」にて、口頭発表のベーシックリサーチ部門トップ5に選出されました。これは酸化染毛剤の入ったカラーリング剤を使うことで毛髪へのダメージやアレルギー症状を引き起こす方々にとって安心して使っただけのカラーリング技術となります。世界中の人々の若々しい状態を保つための手段の一つとして貢献できるよう、引き続き研究を重ねていきます。

2025年

1月

「肌ラボ®」20周年の感謝を込めて、二十歳を祝う限定ボトル「祝潤」をプレゼント

「肌ラボ」発売20周年を記念し、限定デザイン「祝潤」のプレゼントキャンペーンを実施しました。「肌ラボ」は、これからもお客さまの健やかな肌をサポートするスキンケアブランドとして、お客さまの声と共に成長していきます。



(販売名:左) ハダラボモイスト化粧水、ハダラボスーパーモイスト化粧水

難治性創傷のための創傷治療システム「オートロジェル システム」が医療機関に向け販売開始

詳しくは P.5

2月

「スポーツエールカンパニー2025」シルバー+ (プラス) に2年連続で認定

詳しくは P.9



3月

「健康経営銘柄」に2度目の選定、「健康経営優良法人 (ホワイト500)」も5年連続8度目の認定

詳しくは P.9



世界中の人々にWell-beingを届けるために

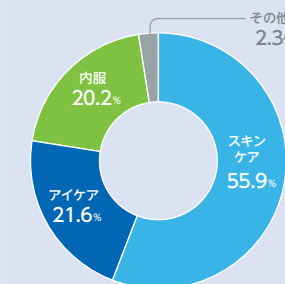
各地域における、開発・生産からマーケティング・営業までの一貫した自前のモノづくりの体制を基盤として、それぞれの地域の人々の多様なニーズや課題に対して、こだわりの高品質の商品をお届けすることが当社のグローバル事業の強みと考えています。そのために、人材育成に最優先に取り組み、ローカルの基盤をグローバルレベルに高めることで、ローカルアクションをさらに活発化させ、グループ全体の成長につなげています。



2024年度

売上高・営業利益の変動要因

日本



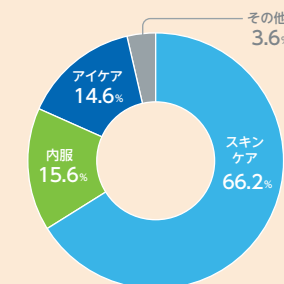
売上高
1,649億円
(前期比5.2%増) ↑

- ⊕ 「ロートV5」、「肌ラボ」の売上増
- ⊕ 新製品ヘアマスク「Gyutto」の好調
- ⊕ ロートニッテンの増収
- ⊕ インバウンド需要の増加

営業利益
224億円
(前期比8.1%減) ↓

- ⊖ 原価率の上昇
- ⊖ 研究開発費など販売費及び一般管理費の増加
- ⊕ 広告費の減少

アジア



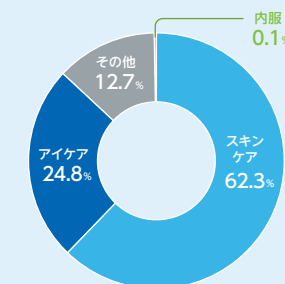
売上高
1,003億円
(前期比27.4%増) ↑

- ⊕ ベトナムでの「肌ラボ」の大幅な伸長
- ⊕ インドネシアでの「肌ラボ」、「セルサン」の伸長
- ⊕ ユーヤンサン社の連結(下半期)
- ⊖ ミャンマーで製品・原料輸入規制の厳格化

営業利益
122億円
(前期比2.2%増) ↑

- ⊕ ベトナム社の大幅な増益
- ⊕ インドネシア社の大幅な増益
- ⊖ ユーヤンサン社ののれん償却費用
- ⊖ ミャンマー社での減収

アメリカ



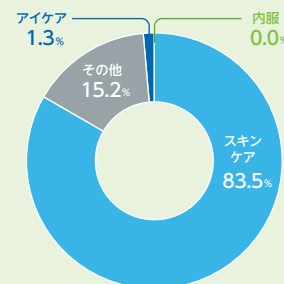
売上高
207億円
(前期比11.9%増) ↑

- ⊕ 米国のOTC目薬の売上増
- ⊕ ハイドロックス社の増収
- ⊕ ブラジルでの「肌ラボ」の伸長

営業利益
15億円
(前期比27.9%増) ↑

- ⊕ ハイドロックス社の増益
- ⊕ ブラジルの連結子会社の利益改善

ヨーロッパ



売上高
191億円
(前期比38.0%増) ↑

- ⊕ モノ社の連結(下半期)
- ⊕ 「Hadalabo Tokyo」の販売国の拡大
- ⊖ 消炎鎮痛剤の出荷時期のずれ

営業利益
14億円
(前期比2.9%増) ↑

- ⊕ DAX社の売上増による増益
- ⊖ 消炎鎮痛剤の売上減
- ⊖ モノ社ののれん償却費用

